

製品名: RTCD1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17429**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	40kDa

抗原情報

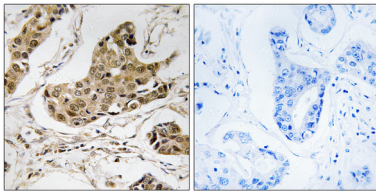
遺伝子名	RTCA RTCA; RPC; RPC1; RTC1; RTCD1; RNA 3'-terminal phosphate cyclase; RNA cyclase; RNA-3'-phosphate cyclase; RNA terminal phosphate cyclase domain-containing protein 1; RTC domain-containing protein 1
別名	
遺伝子 ID	8634.0
SwissProt ID	O00442
免疫原	抗血清はヒト RTCD1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 317-366

背景

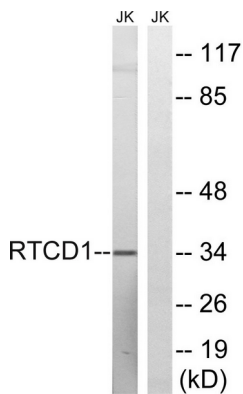
RNA 3'-末端リン酸シクラーゼ (RTCA) Homo sapiens この遺伝子は、RNA 3'-リン酸シクラーゼファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、ATP 依存性に RNA 基質の 3'-リン酸を 2',3'-環状ホスホジエステルに変換する反応を触媒することにより、RNA 代謝に関与しています。この遺伝子については、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2012年2月]触媒活性:ATP + RNA 3'-末端リン酸 = AMP + 二リン酸 + RNA 末端-2',3'-環状リン酸。機能:RNA 末端の 3'-リン酸から 2',3'-環状ホスホジエステルへの変換を触媒します。酵素の作用機序は、(A) ATP による酵素のアデニル化、(B) 酵素は RNA-N3'P に作用して RNA-N3'PP5'A を生成する。(C) ジエステル結合中のリン原子の 2'ヒドロキシル基が非触媒的に求核攻撃し、環状最終生成物を生成する。この酵素の生物学的役割は不明であるが、細胞内 RNA プロセッシングのいくつかの局面で機能する可能性が高い。類似性: RNA 3'末端シクラーゼファミリーに属する。タイプ 1 サブファミリー。サブユニット: モノマー。組織特異性: 普遍的。

研究分野

画像データ



RTCD1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



RTCD1 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンに合成ペプチドでブロッキングされている。